

1. #REF!

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	355,845,317	
	内訳	うち、国費相当額	177,922,658
		うち、地方負担相当額	177,922,659
		うち、負担附寄附金等	
②	基金運用益	29,279	
③	その他収入	0	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	15,010,260	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	340,864,336	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	170,432,168
		うち、地方負担相当額	170,432,168
		うち、負担附寄附金等	

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高		340,864,336	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		356,737,000	
⑩	保有割合		95.551%	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費			備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等	基金充当額				
1	環境活動推進事業	5,517,051	105,889	5,411,162		30%	4,688,000	188,566,000
2	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	1,538,608		1,538,608		13%	1,637,000	20,537,000
3	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	3,391,834	851,495	2,540,339		30%	300,000	96,825,000
4	自然公園美化対策事業	1,151,000		1,151,000		10%	1,146,000	13,646,000
5	白神山地保全推進事業	2,220,000		2,220,000		30%	2,167,000	26,112,000
6	生物多様性保全強化事業	2,261,868	112,717	2,149,151		5%	221,000	11,051,000
7		0						
8		0						
9		0						
10		0						
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		16,080,361	1,070,101	15,010,260			10,159,000	356,737,000

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	環境保全に関する調査における県民の「環境保全活動への参加率」について、2017年度までに35%を達成する。	
成果実績	20%	
目標値	35%	
達成度	57%	

平成29年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境活動人材育成事業（環境大賞）	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

環境保全に関する実践活動が他の模範となる個人又は団体を表彰し、その活動事例を広く県民に紹介することにより、県民の環境保全に関する自主的な取組を促進する。

2. 概要

個人又は団体が秋田県内で実践している環境保全全般に関する活動事例を募集対象とし、表彰を行う。

3. 根拠法令等

秋田県環境教育等に関する行動計画
環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律

4. 実施内容等

個人又は団体が秋田県内で実践している環境保全活動の事例を募集したところ、3部門に22件の応募があり、選考委員会で4者（4団体、個人は無し）を環境大賞受賞者に選定した。

10月のあきたエコ&リサイクルフェスティバルオープニングにおいて表彰式を行い、賞状並びに副賞（楯）を授与し、広く県民に紹介するなど、県民の自主的な取組の促進を図ることができた。

・応募部門内訳

個人部門2件、学校教育関係部門4件、団体部門16件

・平成29年度環境大賞受賞者

学校教育関係部門：北秋田市立鷹巣南小学校（北秋田市）

「笑顔いっぱい 夢いっぱい あったかハートの環境学習」

団体部門：秋田港をキレイにする会（秋田市）

「秋田港をキレイにする」クリーンアップ」

団体部門：尾去沢 里山自然の会（鹿角市）

「尾去沢 里山自然の会」

団体部門：ひろおもてエコクラブ（秋田市）

「こどもエコクラブ活動「ふるさとの思い出づくり」」

平成29年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境活動人材育成事業（環境大賞）	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

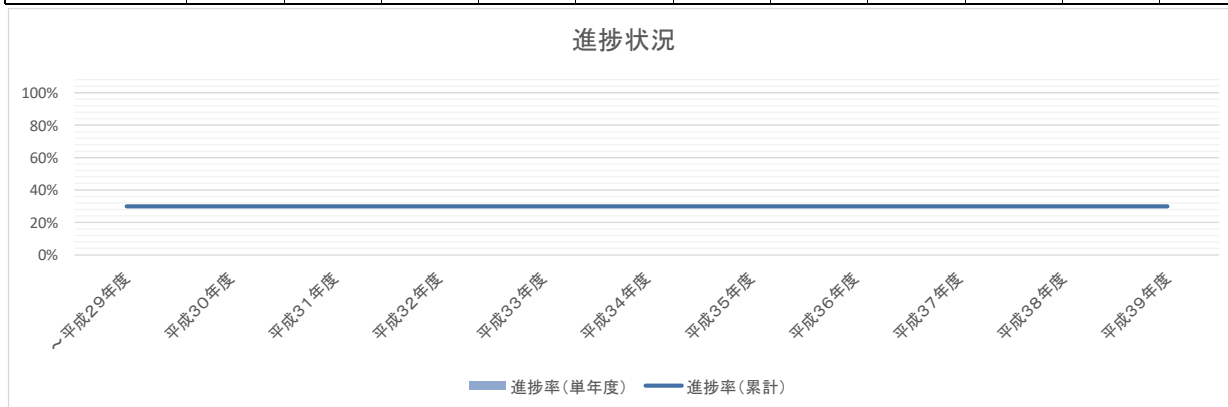
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	73,200		73,200	
その他旅費	16,275		16,275	
消耗品費	6,572		6,572	
賞状筆耕料	12,344		12,344	
委託費	0			
負担金	0			
合計	108,391	0	108,391	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
事業費 (単年度)											
事業費 (累計)	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
進捗率 (単年度)											
進捗率 (累計)	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%



平成29年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境活動人材育成事業（こどもエコクラブ支援事業）	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

こどもエコクラブの登録人数の増加を図るとともに、活動意欲を高揚させる。

2. 概要

- ・こどもエコクラブのグッズの利用により、こどもエコクラブの登録人数の増加を図る。
- ・こどもエコクラブの活動の一環である壁新聞等の作成を通じて、全国フェスティバルに参加に選抜された団体を支援することで活動意欲を高揚させる。

3. 根拠法令等

秋田県環境教育等に関する行動計画
環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
秋田県環境基本計画

4. 実施内容等

- (1) こどもエコクラブグッズの提供
県オリジナルバンダナを新規登録者に提供した。
- (2) こどもエコクラブ活動報告集の作成
平成29年度に登録されているこどもエコクラブからの活動報告をとりまとめ、こどもエコクラブ活動報告集2017を900部作成し、こどもエコクラブ、小・中学校、幼稚園等へ送付した。
- (3) こどもエコクラブ全国フェスティバルへのメンバー派遣
こどもエコクラブ全国フェスティバルへ、県代表として参加したマックスパリュ東北秋田イオンチアーズクラブのメンバー4名を派遣した。

平成29年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境活動人材育成事業（こどもエコクラブ支援事業）	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

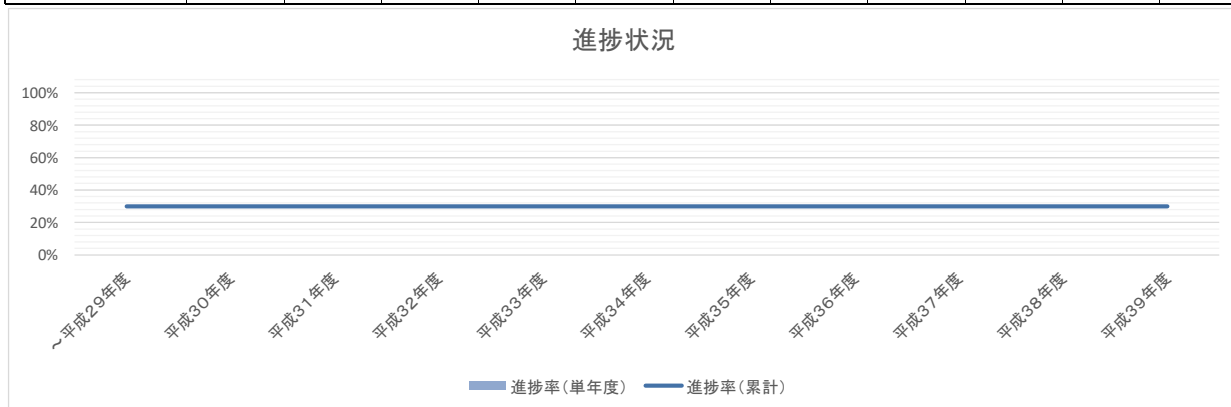
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	83,449	83,449		
その他旅費	113,173		113,173	
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	0			
負担金	0			
合計	196,622	83,449	113,173	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
事業費 (単年度)											
事業費 (累計)	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
進捗率 (単年度)											
進捗率 (累計)	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%



平成29年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境活動人材育成事業（学校環境教育支援事業）	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

学校における環境教育・環境学習の推進と充実を図る。

2. 概要

・北東北三県（青森・岩手・秋田）が合同で作成する共通環境ワークブック（バインダー式教材、ワークシート、児童用冊子）を教師及び児童へ提供し、環境教育の推進を図る。
・各市町村教育委員会の推薦により、6校程度を学校環境教育支援校として指定し、環境教育・環境学習に係る物品の提供を行い環境教育の充実を図る。

3. 根拠法令等

秋田県環境教育等に関する行動計画
環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
秋田県環境基本条例

4. 実施内容等

（1）環境教育支援校への物品の提供
各市町村教育委員会に推薦を依頼し、大館市立田代中学校、秋田市立旭北小学校、大仙市立藤木小学校、大仙市立角間川小学校、横手市立雄物川小学校、湯沢市立湯沢南中学校、県立秋田南高校中等部の7校を環境教育支援校に指定した。各校から要望のあった環境教育・環境学習に係る物品を提供し、環境学習の支援を行った。

（2）北東北三県環境教材の作成
環境学習教材「北東北三県共通環境ワークブック」について、児童用冊子を県内の小学校に配布した（8,040部）。また、当該ワークブックの教師用バインダー式教材、ワークシート、児童用冊子を県ウェブページに掲載した。

平成29年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境活動人材育成事業（学校環境教育支援事業）	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

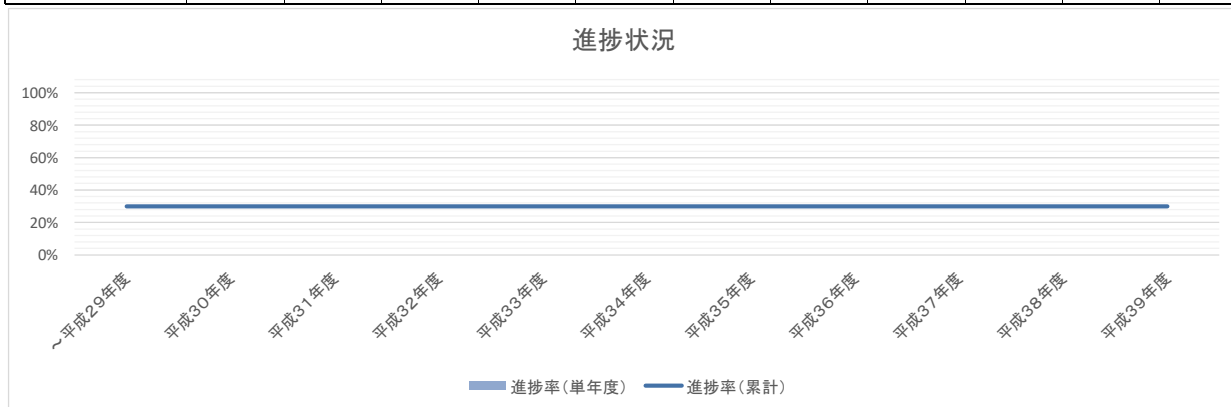
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	22,440	22,440		
講師旅費	0			
印刷製本費	240,003		240,003	
その他の消耗品			189,973	
委託費	0			
役務費	94,716		94,716	
合計	547,132	22,440	524,692	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
事業費 (単年度)											
事業費 (累計)	547	547	547	547	547	547	547	547	547	547	547

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
進捗率 (単年度)											
進捗率 (累計)	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%



平成29年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	環境活動人材育成事業（温暖化対策人材育成支援事業）	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

県内各地で省エネなどの環境保全活動を実践している地球温暖化防止活動推進員等の育成や活用を通じて、地域の環境活動を推進し、県民の地球温暖化に関する意識の醸成を図る。

2. 概要

地球温暖化防止活動推進員等を対象とした情報交換会の開催、地球温暖化対策に関するセミナー、推進員活動情報紙の発行などを行う。また、地球温暖化防止活動推進センターの環境イベントへの参加などへの推進員等の参加を促進する。

3. 根拠法令等

- 地球温暖化対策の推進に関する法律
- 秋田県地球温暖化対策推進条例
- 秋田県地球温暖化対策推進計画

4. 実施内容等

- 基礎研修：新規推進員等を対象に5箇所で開催し、73名参加。
- ステップアップ研修：推進員・エコマイスターを対象に3箇所で開催し、71名参加。
- 移動研修：推進員等を対象に資料作成等のための研修を実施。6名参加。
- 視察研修：バイオガス発電・自動車リサイクル・ガラスリサイクルの工場を視察。46名参加。
- セミナー：一般県民を対象に2箇所で開催。110名参加。

平成29年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	環境活動人材育成事業（温暖化対策人材育成支援事業）	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

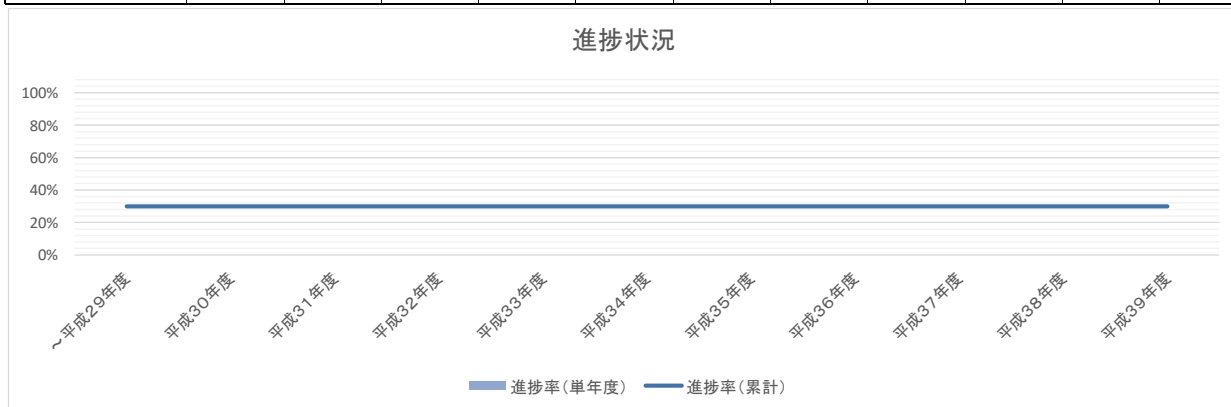
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	4,664,906		4,664,906	
負担金	0			
合計	4,664,906	0	4,664,906	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
事業費 (単年度)											
事業費 (累計)	4,665	4,665	4,665	4,665	4,665	4,665	4,665	4,665	4,665	4,665	4,665

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
進捗率 (単年度)											
進捗率 (累計)	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%



平成29年度 事業報告書

事業名	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	新規・継続区分	継続
事項名	湖沼水質保全計画推進事業（八郎湖環境学習推進）	開始年度	平成29年度
担当部署	秋田県生活環境部環境管理課 八郎湖環境対策室	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

八郎湖の環境や水質保全の意義や重要性について流域住民の理解を深め、協働活動等の参加を促進するため、環境学習の機会を広く継続的に提供する。

【目標】

湖沼水質保全計画における八郎湖（湖心）のCOD目標値を指標とする。

※2017年度現在の目標値

＝第2期湖沼水質保全計画（最終2018年度（平成30年度））の目標値 八郎湖（湖心）のCOD7.3

※2019年度～2027年度の目標値は、2019年度に策定する第3期湖沼水質保全計画で設定する。

2. 概要

八郎湖の環境や水質について学習し、八郎湖周辺の自然に接する機会を増やすことで八郎湖への理解や関心を深める。また、その機会を継続して提供することで、地域全体の環境保全意識を高めて定着させる。

- ・八郎湖に関する出前授業や環境学習交流会などを開催する。
- ・八郎湖流域の学校等に環境副読本を配付する。
- ・水生生物調査を実施する。

3. 根拠法令等

湖沼水質保全特別措置法 八郎湖に係る湖沼水質保全計画（第2期）

4. 実施内容等

(1) 八郎湖環境学習推進事業

八郎湖流域の子供たちに対して環境学習や出前授業を実施した。

- ・委託先：特定非営利活動法人はちろうプロジェクト
- ・メニュー：八郎湖野外観察、水草の植え付け、アオコとミジンコ、水の旅 等
- ・出前授業30回実施（参加人数 1,105名）
- ・こども交流会を実施（平成29年7月31日 参加人数16名）

(2) 水生生物調査

- ・6/19 三種川 森岳小学校
- ・6/29 鯉川川 琴丘小学校
- ・7/31 豊川 飯田川小学校
- ・7/31 馬場目川 五城目小学校
- ・8/3 井川 井川小学校

(3) 環境副読本「みんなの八郎湖」

「みんなの八郎湖（A4版、カラー、8頁）」1,000部作成
八郎湖流域の小学校5年生全員に配付。

平成29年度 事業報告書

事業名	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	新規・継続区分	継続
事項名	湖沼水質保全計画推進事業（八郎湖環境学習推進）	開始年度	平成29年度
担当部署	秋田県生活環境部環境管理課 八郎湖環境対策室	終了年度	平成39年度

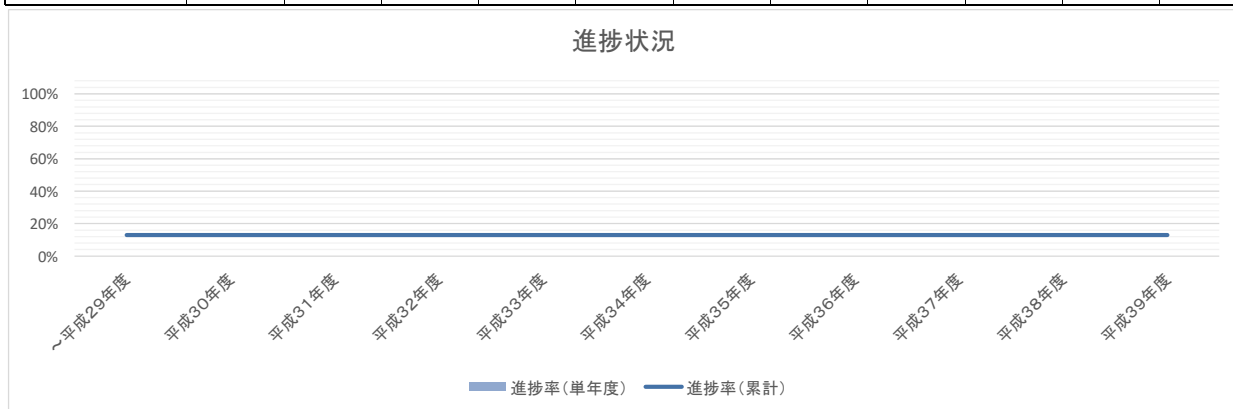
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	48,608		48,608	
借料	0			
委託費	1,490,000		1,490,000	
負担金	0			
合計	1,538,608	0	1,538,608	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
事業費 (単年度)											
事業費 (累計)	4,623	4,623	4,623	4,623	4,623	4,623	4,623	4,623	4,623	4,623	4,623

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
進捗率 (単年度)											
進捗率 (累計)	13%	13%	13%	13%	13%	13%	13%	13%	13%	13%	13%



平成29年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	「ストップ・ザ・温暖化あきた」啓発事業	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

地球温暖化防止に向けた対策については、県民一人一人の取組が非常に重要なものとなっている。県民に温暖化防止対策のための県民運動を呼び掛け、温暖化対策の推進を図る。

2. 概要

平成28年度の第2次秋田県地球温暖化推進計画を策定に伴い、新たな目標に向けた地球温暖化防止に係る県民運動を実施する。

3. 根拠法令等

- 地球温暖化対策の推進に関する法律
- 秋田県地球温暖化対策推進条例
- 秋田県地球温暖化対策推進計画

4. 実施内容等

「みんなでストップ・ザ・温暖化あきた キックオフイベント」
日時：平成29年8月6日（日）10：00～16：00
場所：イオンモール秋田1F セントラルコート
内容：活動報告（推進員・三菱電機住環境システムズ㈱・三種町立浜口小学校・他）
「うちエコ診断」デモンストレーション
「エコドライブシュミレーター」体験
キックオフ宣言 等
参加人数：約3,500人

平成29年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	「ストップ・ザ・温暖化あきた」啓発事業	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

5. 事業費等

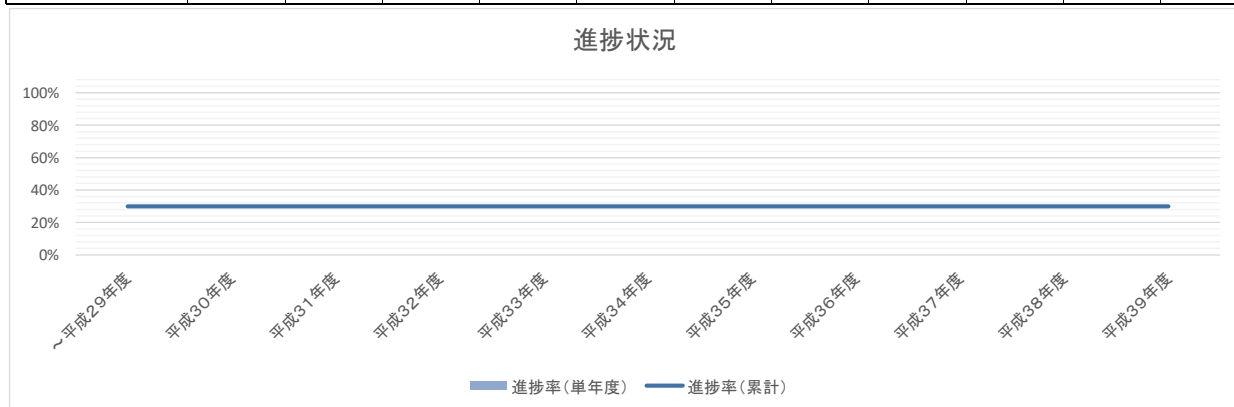
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	985,252		985,252	
負担金	0			
合計	985,252	0	985,252	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
事業費 (単年度)											
事業費 (累計)	985	985	985	985	985	985	985	985	985	985	985

※平成30年度から環境活動推進事業(気づきのための環境教育推進事業)へ変更

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
進捗率 (単年度)											
進捗率 (累計)	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%



平成29年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	秋田県地球温暖化対策推進計画推進費	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

地球温暖化防止に向けた対策については、県民一人一人の取組が非常に重要なものとなっている。
県民に温暖化防止対策のための県民運動を呼び掛け、温暖化対策の推進を図る

2. 概要

平成28年度の第2次秋田県地球温暖化推進計画の策定に伴い、新たな目標に向けた地球温暖化防止に係る県民運動を実施する。

3. 根拠法令等

- 地球温暖化対策の推進に関する法律
- 秋田県地球温暖化対策推進条例
- 秋田県地球温暖化対策推進計画

4. 実施内容等

パンフレット（「できることからはじめよう♪みんなでストップ・ザ・温暖化あきた～よく分かる第2次秋田県地球温暖化対策推進計画～」）1000部作成・配布した。

平成29年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	秋田県地球温暖化対策推進計画推進費	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

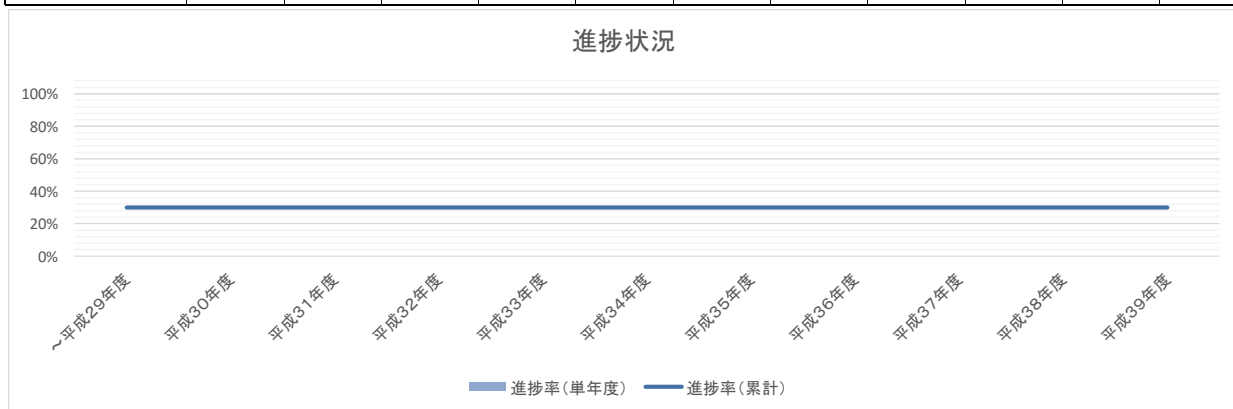
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	391,840	391,840		
講師旅費	26,000	26,000		
印刷製本費	128,310	79,710	48,600	
消耗品費	326,601	326,601		
通信運搬費	27,344	27,344		
借料	0			
委託費	0			
合計	900,095	851,495	48,600	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
事業費 (単年度)											
事業費 (累計)	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
進捗率 (単年度)											
進捗率 (累計)	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%



平成29年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	普及啓発促進事業（レジ袋削減・マイバッグ推進運動の推進）	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

県と事業者がレジ袋削減に向けた協定を締結し、協働してレジ袋削減の取組を推進することで、廃棄物の減量化を通じた循環型社会の形成と地球温暖化対策を推進することを目的とする。

2. 概要

秋田県におけるレジ袋の削減を促進するため、平成19年度から「レジ袋削減・マイバッグ推進運動」を実施している。本運動においては、県と事業者が協定を締結し、協働してレジ袋の削減に取り組む。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・改正容器包装リサイクル法

4. 実施内容等

○レジ袋削減・マイバッグ推進運動の推進
 レジ袋削減・マイバッグ推進運動協定をスーパー等事業者との間に締結し、事業の普及・広報を行った。
 マイバッグ推進運動ミニのぼり旗を750個作成し、協定締結事業者の店舗数に応じて配布した。

平成29年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	普及啓発促進事業（レジ袋削減・マイバッグ推進運動の推進）	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

5. 事業費等

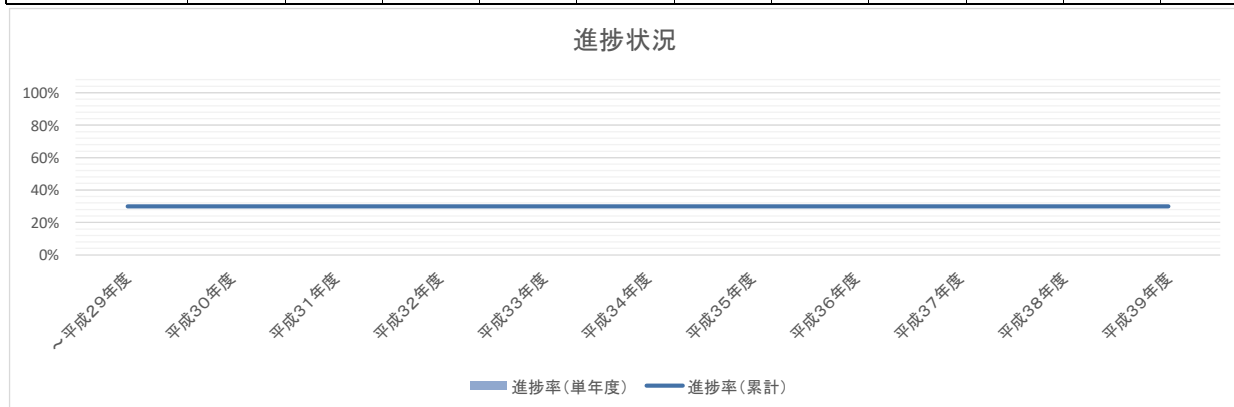
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
消耗品費	209,775		209,775	
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	0			
負担金	0			
合計	209,775	0	209,775	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
事業費 (単年度)											
事業費 (累計)	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210

※平成30年度から環境活動推進事業(行動のための協働促進事業)へ変更

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
進捗率 (単年度)											
進捗率 (累計)	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%



平成29年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	普及啓発促進事業（エコドライブの推進）	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

秋田県の2011年度の温室効果ガス排出量の約9割を占める二酸化炭素排出量のうち、運輸部門は207万トンであり、約23%を占めている。また、基準年と比較し、約10%増加していることから、自動車由来の二酸化炭素排出量を削減するため、エコドライブの普及啓発を図る。

2. 概要

エコドライブ宣言事業所登録制度の運用、環境イベントにおける普及啓発等を実施する。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・秋田県地球温暖化対策推進計画

4. 実施内容等

- エコドライブ普及啓発
あきたエコ&リサイクルフェスティバル（10月7日～8日、来場者約24,000人）に、エコドライブ体験ブースを出展した。
- エコドライブ宣言事業所登録制度の運用
エコドライブステッカーを600枚作成し、宣言事業所等へ配布した。

平成29年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	普及啓発促進事業（エコドライブの推進）	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

5. 事業費等

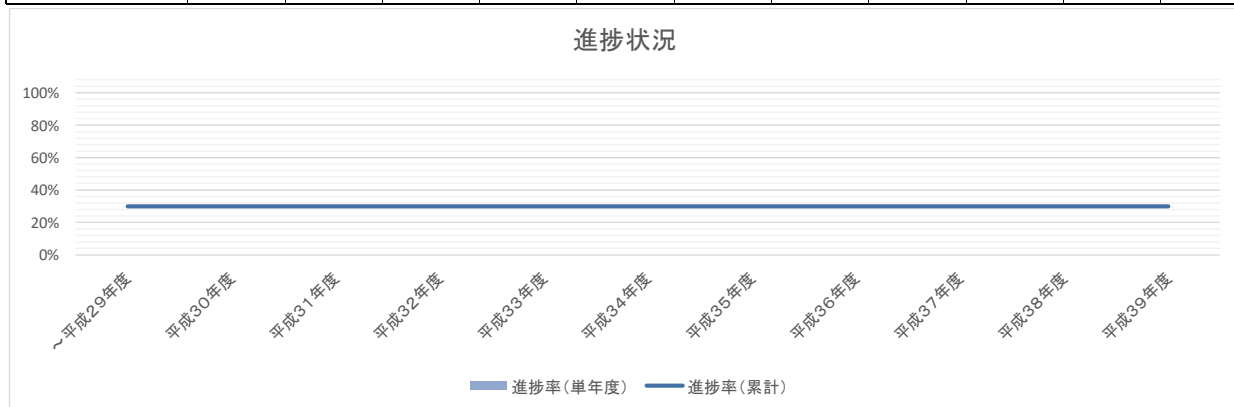
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
消耗品費	90,000		90,000	
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	0			
負担金	0			
合計	90,000	0	90,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
事業費 (単年度)											
事業費 (累計)	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90

※平成30年度から環境活動推進事業(行動のための協働促進事業)へ変更

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
進捗率 (単年度)											
進捗率 (累計)	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%



平成29年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	家庭の省エネチャレンジ事業	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

秋田県における二酸化炭素排出量の約2割は民生家庭部門が占めており、地球温暖化を防止するためには、家庭における節電等の省エネルギーへの取組が必要である。このため、県民が楽しみながら省エネルギー対策に取り組めるキャンペーン等を実施し、家庭における節電などの省エネルギー活動を後押しする。

2. 概要

実践型の省エネに関するキャンペーンによる地球温暖化防止のための啓発事業を実施する。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・秋田県地球温暖化対策推進計画

4. 実施内容等

一般家庭を対象に夏季及び冬季に、省エネに取り組むキャンペーンを実施し、リーフレットを県内の小学校へ配布した。参加者は、家庭で取り組んだ省エネの実践内容を県に報告することとし、夏季は196世帯、冬季は364世帯の参加があった。報告した参加者には、協賛事業者からの提供商品を抽選で贈呈した。

平成29年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	家庭の省エネチャレンジ事業	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

5. 事業費等

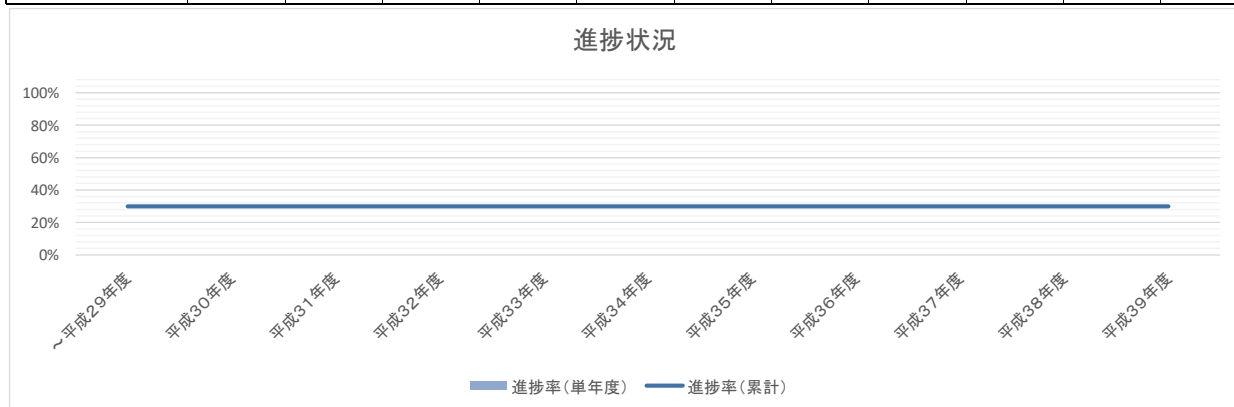
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
印刷製本費	570,240		570,240	
役務費	288,496		288,496	
	0			
	0			
	0			
	0			
合計	858,736	0	858,736	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
事業費 (単年度)											
事業費 (累計)	859	859	859	859	859	859	859	859	859	859	859

※平成30年度から環境活動推進事業(行動のための協働促進事業)へ変更

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
進捗率 (単年度)											
進捗率 (累計)	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%



平成29年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	あきた省エネ住宅普及促進協働事業	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

秋田県におけるCO₂排出量のうち、家庭からの排出量が約2割を占めており、特に冬季は暖房に由来するCO₂の排出量が増加する。これを削減するためには、高性能の省エネ住宅の普及を促進させることが重要である。このことから、住宅メーカーと協働して省エネ住宅の普及啓発を図る。

2. 概要

県内住宅メーカーと省エネ住宅の普及啓発にかかる協定を締結する。また、省エネ住宅のポイントをわかりやすく解説したリーフレットを作成し、協定締結者の協力により、住宅展示場、モデルハウス等で来場者に配布する。

3. 根拠法令等

- 地球温暖化対策の推進に関する法律
- 秋田県地球温暖化対策推進条例
- 秋田県地球温暖化対策推進計画

4. 実施内容等

- 省エネ住宅に関するパンフレットの印刷
 - ・ A4版フルカラー両面8ページのパンフレットを1,800枚印刷。
 - ・ 「あきた省エネ住宅普及促進協定」16社をはじめ住宅展示場等で配布。

平成29年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	あきた省エネ住宅普及促進協働事業	開始年度	平成29年度
担当部署	生活環境部 温暖化対策課	終了年度	平成39年度

5. 事業費等

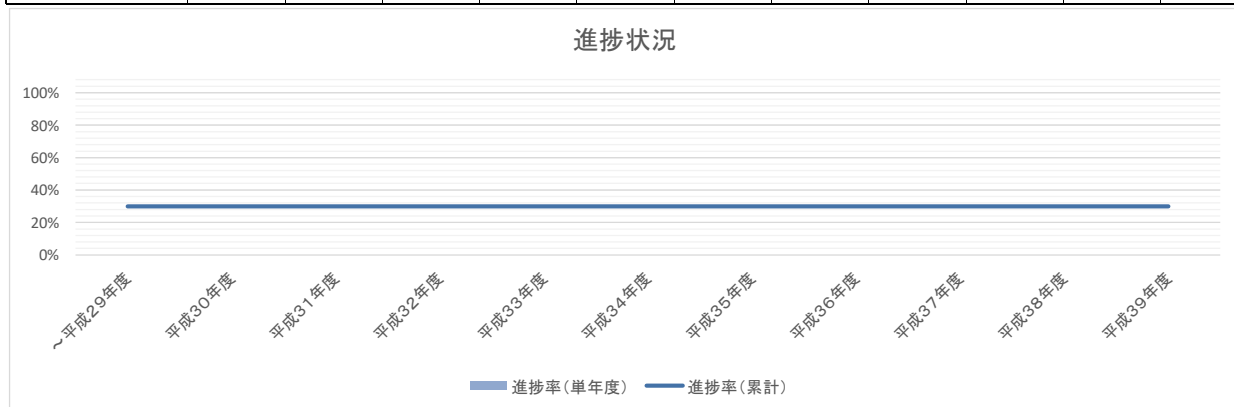
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
印刷製本費	347,976		347,976	
合計	347,976	0	347,976	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
事業費 (単年度)											
事業費 (累計)	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348

※平成30年度から環境活動推進事業(行動のための協働促進事業)へ変更

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
進捗率 (単年度)											
進捗率 (累計)	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%



平成29年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策(国立公園)	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標(値)

○目的
優れた風致景観を有する自然公園内における産業廃棄物等の不法投棄の処理及び不法投棄防止の普及啓発活動を行い、自然環境の清潔を保持する。

○目標
回収される廃棄物等の量について2027年度までに目標値の3t以下を達成する。

2. 概要

○地元清掃団体が行う廃棄物等の処理や不法投棄防止の普及啓発活動に要する経費を補助する。

3. 根拠法令等

○自然公園法第19条
○秋田県生活環境部自然保護課関係補助金交付要綱

4. 実施内容等

○国立自然公園の美化清掃を推進し、自然環境を清潔に保持するために、清掃活動団体が行う清掃活動事業の必要な経費に対し市町村が補助又は負担する経費について、補助金を交付する。

○清掃活動団体は、国定公園、県立自然公園内を巡回し、ゴミ等の回収や施設の清掃を行う。

平成29年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国立公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	平成39年度

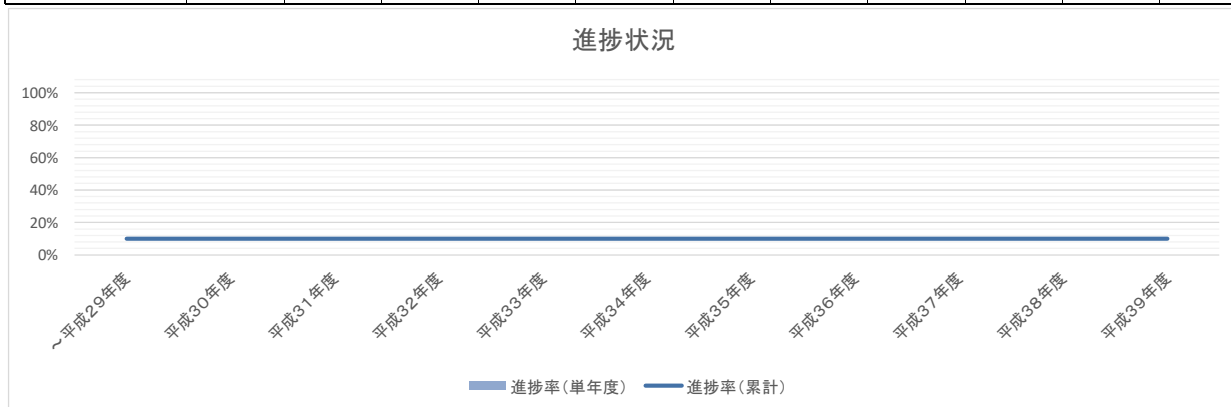
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
負担金及び補助金	101,000	0	101,000	一般社団法人十和田湖国立公園協会
	124,000	0	124,000	八幡平を美しくする会 八幡平支部
	142,000	0	142,000	八幡平を美しくする会 南八幡平支部
	0		0	
	0		0	
	0		0	
合計	367,000	0	367,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
事業費 (単年度)											
事業費 (累計)	1,623	1,623	1,623	1,623	1,623	1,623	1,623	1,623	1,623	1,623	1,623

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
進捗率 (単年度)											
進捗率 (累計)	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%



平成29年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国定・県立公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

○目的
優れた風致景観を有する自然公園内における産業廃棄物等の不法投棄の処理及び不法投棄防止の普及啓発活動を行い、自然環境の清潔を保持する。

○目標
回収される廃棄物等の量について2027年度までに目標値の60 t以下を達成する。

2. 概要

○地元清掃団体が行う廃棄物等の処理や不法投棄防止の普及啓発活動に要する経費を補助する。

3. 根拠法令等

○自然公園法第19条
○秋田県生活環境部自然保護課関係補助金交付要綱

4. 実施内容等

○国定公園、県立自然公園の美化清掃を推進し、自然環境を清潔に保持するために、清掃活動団体が行う清掃活動事業の必要な経費に対し市町村が補助又は負担する経費について、補助金を交付する。

○清掃活動団体は、国定公園、県立自然公園内を巡回し、ゴミ等の回収や施設の清掃を行う。

平成29年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国定・県立公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	平成39年度

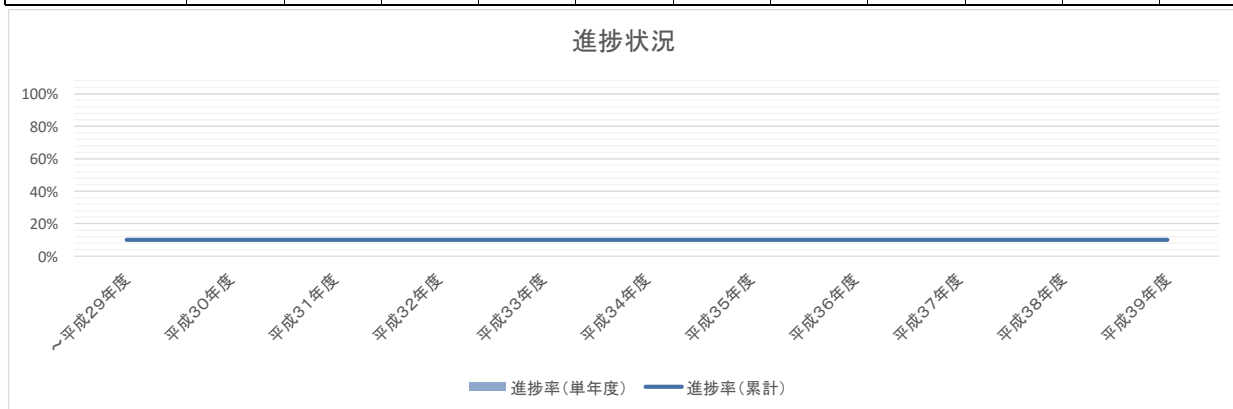
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
補助金及び負担金	65,000	0	65,000	にかほ市(鳥海国定公園を美しくする会)
	65,000	0	65,000	湯沢市(湯沢市栗駒国定公園を美しくする会)
	65,000	0	65,000	大崎市(真木真昼県立自然公園を美しくする会)
	284,000	0	284,000	男鹿市(男鹿を美しくする会)
	110,000	0	110,000	北秋田市(県立自然公園森吉山を美しくする会)
	65,000	0	65,000	大館市(田代岳を愛する会)
	130,000	0	130,000	仙北市(田沢湖を美しくする会)
合計	784,000	0	784,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
事業費 (単年度)											
事業費 (累計)	3,501	3,501	3,501	3,501	3,501	3,501	3,501	3,501	3,501	3,501	3,501

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
進捗率 (単年度)											
進捗率 (累計)	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%



平成29年度 事業報告書

事業名	白神山地保全推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地環境教育推進事業	開始年度	平成26年度
担当部署	生活環境部 自然保護課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

- 目的
白神山地の価値や素晴らしさを、次代を担う子どもたちに伝えることで、自然に親しみ自然を大切に感じる心を養うための環境教育を実施する。また、その結果として白神山地世界遺産を将来にわたって保全していくための人材を育成することをめざす。
- 目標
自然体験教室を2027年度まで継続させ、定員800名に対し参加者計640人以上を獲得する。

2. 概要

開催時期は、夏季（7～8月、日帰り、3回）と、冬季（1～2月、2泊3日、1回）とする。夏季は沢歩きを、冬季は雪遊びや伝承文化をメインプログラムとし、白神山地の環境が育む水と生態系や人との関わりなど、学習指導要領との関連も前面に打ち出した野外体験学習の性質を持たせたものとする。

実施方式は、プログラムの内容を深め、より良いものとするために、企画提案競技による委託事業とする。

参加者を募る周知活動については、県央・県南の市町村教育委員会に協力を依頼し、各小学校へ参加者募集チラシ等を配布する。

3. 根拠法令等

- 白神山地世界遺産地域管理計画

4. 実施内容等

○白神山地は環境保全教育などを実施するのに最適フィールドであるが、地理的に遠い県央・県南地区の子どもたちは、白神山地を訪れる機会が少ない。そこで、これらの地域に小学生（小学4年～6年）を対象として、バスをチャーターして現地に連れて行き、トレッキングや自然観察を実施する。現地では、白神山地の自然などに詳しい地元ガイドが同行し、五感を使った分かりやすい解説と自然体験を提供する。

- 子ども自然体験教室「白神体験塾」の開催
 夏季プログラム：日帰り（秋田市・横手市発）（秋田市発2回、横手市発1回、全3回開催）
 冬季プログラム：2泊3日（秋田市発）（1回）
 対象：秋田県内の小学4年～6年（定員各20名）
 委託先：企画提案競技により選定

平成29年度 事業報告書

事業名	白神山地保全推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地環境教育推進事業	開始年度	平成26年度
担当部署	生活環境部 自然保護課	終了年度	平成39年度

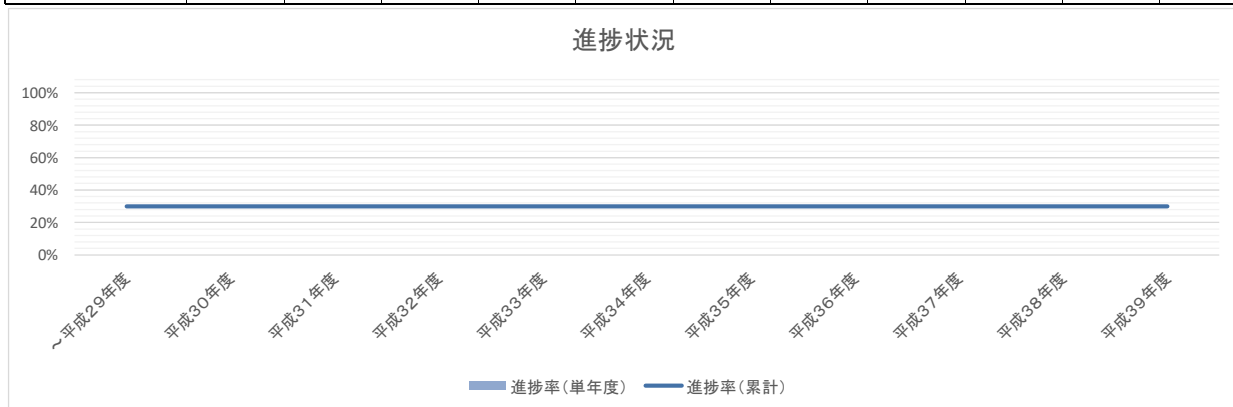
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	2,220,000		2,220,000	
負担金	0			
合計	2,220,000	0	2,220,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
事業費 (単年度)											
事業費 (累計)	2,220	2,220	2,220	2,220	2,220	2,220	2,220	2,220	2,220	2,220	2,220

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
進捗率 (単年度)											
進捗率 (累計)	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%



平成29年度 事業報告書

事業名	生物多様性保全強化事業	新規・継続区分	継続
事項名	(1) 秋田県版レッドデータブック改訂事業	開始年度	平成25年度
担当部署	自然保護課	終了年度	平成31年度

1. 目的及び目標 (値)

○野生動植物の生息状況は常に変化しているため、絶滅危険性を表すレッドデータブックは定期的な見直しが必要となる。そのため、秋田県版レッドデータブックを以下の用途で利活用が図られるように現在の生息状況を反映した改訂を行う。

- ①地域環境保全活動の基本方針等の策定に活用するための基礎資料
- ②環境教育の場で次代を担う子供たちに自然保護思想の啓発を行うための副読本
- ③地域環境保全に対する意識の高揚を図るための市町村等が行う社会教育講座等での講座資料

2. 概要

○秋田県版レッドデータブック改訂検討委員会を動植物の分類群毎に開催し、絶滅危険性の見直しの検討を行う。
 ○必要に応じ現地調査を行い、県内の動植物の生息状況を調査する。絶滅危険性の見直しが完了したら、分類群毎に解説文等を加えて取りまとめ、平成31年度にレッドデータブックとして製本し配布する。

3. 根拠法令等

○秋田県版レッドデータブック改訂事業実施要領

4. 実施内容等

○検討委員会開催状況
 昆虫類／1回目(平成29年8月2日) 2回目(平成29年12月26日) 3回目(平成29年3月20日)
 哺乳類／1回目(平成29年9月29日) 2回目(平成29年12月27日)

○県内の生息状況調査業務委託【昆虫類】
 県内に生息する希少種(コウチュウ目、チョウ目)の現地調査を83人日・75箇所を実施し、45種の絶滅の危険性を評価した。

平成29年度 事業報告書

事業名	生物多様性保全強化事業	新規・継続区分	継続
事項名	(1) 秋田県版レッドデータブック改訂事業	開始年度	平成25年度
担当部署	自然保護課	終了年度	平成31年度

5. 事業費等

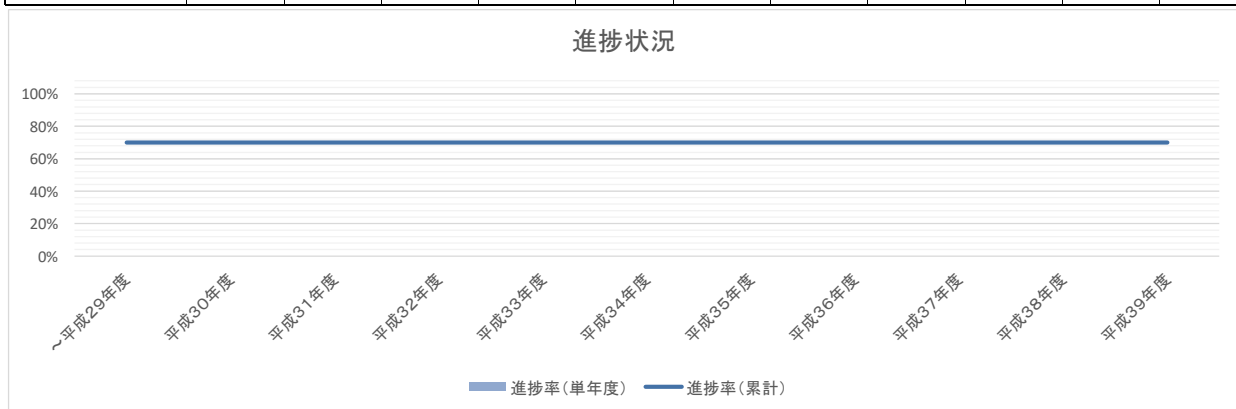
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	190,000		190,000	委員報償費
職員旅費	0			
講師旅費	46,257		46,257	委員旅費
印刷製本費	112,717	112,717		消耗品等
借料	13,600		13,600	会議室使用料
委託費	1,600,000		1,600,000	昆虫類現地調査委託
負担金	0			
合計	1,962,574	112,717	1,849,857	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
事業費 (単年度)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (累計)	1,963	1,963	1,963	1,963	1,963	1,963	1,963	1,963	1,963	1,963	1,963

※基金事業見直しにより平成30年度より除外

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
進捗率 (単年度)											
進捗率 (累計)	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%



平成29年度 事業報告書

事業名	生物多様性保全強化事業	新規・継続区分	新規
事項名	(2) 希少種環境保全普及啓発事業	開始年度	平成29年度
担当部署	自然保護課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標 (値)

○安本自然環境保全地域の横手市において、希少淡水魚であるゼニタナゴ（絶滅危惧 I A類）の生息地の環境保全活動を行う。

2. 概要

○ゼニタナゴの生息地の環境保全を図るため、地元住民を対象として、ため池の浮葉植物（水草）の除去活動を行う。
 ○ゼニタナゴ等の希少種の普及啓発を図るため、地元住民を対象として外来種駆除及び観察会を行う。

3. 根拠法令等

○秋田県自然環境保全条例
 ○秋田県安本自然環境保全地域に関する保全計画

4. 実施内容等

○ため池の水草除去作業委託／平成29年7月11日～平成29年10月31日
 ○希少種観察会の開催・外来種駆除及び水草除去の実施／地元の小学生と親15名が参加（平成29年8月20日）

平成29年度 事業報告書

事業名	生物多様性保全強化事業	新規・継続区分	新規
事項名	(2) 希少種環境保全普及啓発事業	開始年度	平成29年度
担当部署	自然保護課	終了年度	平成39年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	10,000		10,000	講師報償費
職員旅費	0			
講師旅費	5,254		5,254	講師旅費
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	284,040		284,040	水草除去委託
負担金	0			
合計	299,294	0	299,294	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
事業費 (単年度)											
事業費 (累計)	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
進捗率 (単年度)											
進捗率 (累計)	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%

